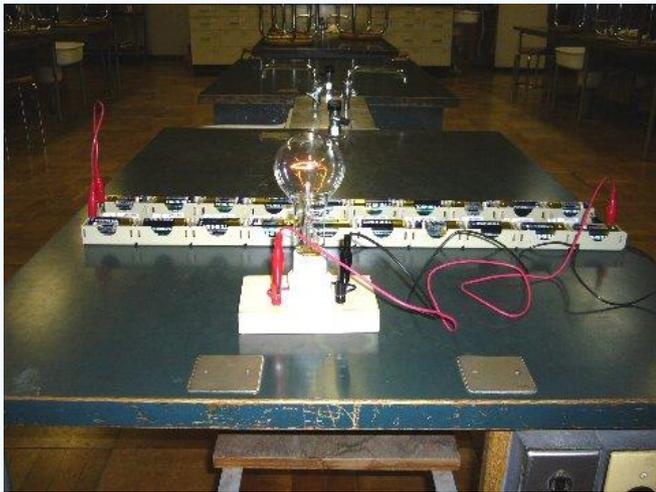
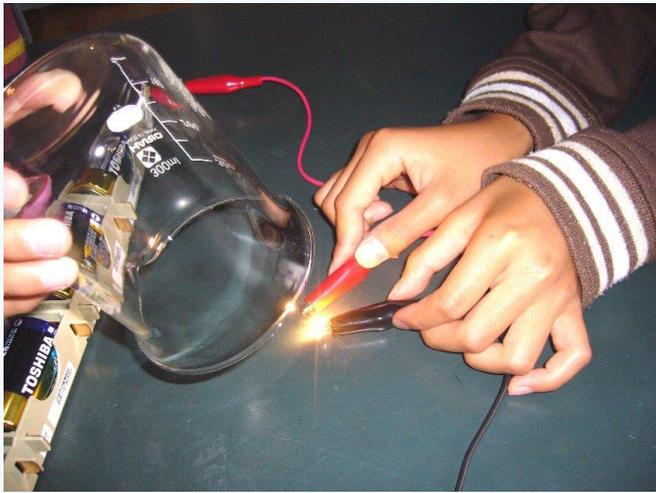


テーマ：『 教材・教具の充実による小学校理科教育の推進』

下野市立 国分寺小学校

Tel. 0285-44-0004

担 当 大谷 直之  
者：



上：電球の内部に着目させる実験

下：200W 電球を乾電池で光らせよう（自作教材）

上：食品のアラザンは電気を通すか

下：職員を対象とした実技研修

■実践内容:整備した教材・教具を使って、①回路の本質的理解を図るため、電球内部のつくりに着目させるエジソン電球の実験、②「実感を伴う理解」を図るため、乾電池を使って自作教材である二百ワット電球を点灯させる実験やケーキなどの材料として使われるアラザンを使って通電性を調べる実験、③職員に対する実技研修、小学校理科教育の推進を図った。

■実践成果:児童を対象とした履修一か月後における事後調査においても対照群との比較において実験群の正答率が有意（危険率5%）に高いことを認めることができ、教材・教具の充実に伴う指導の改善によって、回路に関する本質的理解の定着が確認でき、実感を伴いながら電気概念が形成されていった過程が確認できた。一方、職員を対象とした実技研修においては、事後のアンケートにおいて大変好評で、職員の理科教育に対する関心が高まったものと推察できる。

■実践ポイント:教材・教具の充実を図り、①電気分野を中心とした電気教材・教具の整備や自作教材の開発 ②整備したり開発した教材・教具を活用して、電気分野における本質理解を図るための指導の改善 ③職員を対象にした実技研修を行い、小学校理科教育の推進を図った。

